

肛門外科専門外来

2026年4月1日より

肛門外科専門外来を開設いたしました。

「おしりの悩み、
一人で抱えていませんか？」



肛門外科専門外来では、主に痔核（いぼ痔）・裂肛（切れ痔）・痔瘻（あな痔）をはじめとする肛門周囲の疾患に対し、専門的かつ丁寧な診療を行っています。当外来ではプライバシーに配慮し、安心して受診していただける環境づくりを大切にしています。



担当医：曾我 真伍
大腸肛門病学会専門医
大腸肛門病学会指導医

診察日：木曜日の午後 ※午前の診察ご希望の方はご相談ください
(お電話にてご予約ください)

当外来の特徴

- ・ 肛門専門医による診察

肛門疾患に精通した医師が、症状や生活背景を丁寧に伺い、最適な治療方針をご提案します。

- ・ 痛みや肛門機能の温存に配慮した治療

保存的療法（薬物療法）から手術（結紮切除術）まで、患者さんの負担を最小限に抑える方法を選択します。

- ・ 硬化療法（ジオン注射）

痔核（いぼ痔）の中でも特に内痔核に関しては、ジオン注射による治療（ALTA療法）による硬化療法を行うことが可能です。ジオン注射は日本大腸肛門病学会の講習を受けて認定された医師のみが施術できる治療法で、痔核に薬剤を注射して小さく退縮させることで、痛みや出血を抑えながら治療できます。

入院期間

- ① 予約日に肛門外科外来（外科外来）を受診し、医師と相談しながら手術法、手術日程、入院日程などを決めていきます。
- ② 健康状態や手術方法などによって異なりますが、基本は手術前日の午前中に入院していただき、手術の翌々日以降の退院（3泊4日～）となります。

※お仕事の都合等で、ご要望のある方はお気軽にご相談ください。また手術の程度や患者様の背景（ご年齢や遠方の方など）を考慮し1週間ほどの入院を要することもあります。

術後通院

術後 2 週間目に術後初回の診察を行います。その後 4 週間毎に通院して頂き、創部の確認や薬の調整をおこないながら経過を見ていきます。



外科外来より

治療後も以前と同じように肛門に炎症を起こすような生活を続けていると新しい痔ができてしまいます。再び痔にならないためにおしりに負担のかかる生活を改めることが、なによりも大切です。

おしりの悩みは、誰にでもあるものです。恥ずかしがらずに、早めの受診が早期改善への近道です。

- 排便時に出血がある
- 肛門周囲の腫れ・しこりがある
- おしりの痛み・かゆみ・残便感がある
- 痔の再発や治療後のフォローなど

上記症状がみられる方はご相談ください。上記症状以外でも肛門外科外来の受診ご希望される方は外科外来にご連絡ください。



連絡先

地域医療機能推進機構 金沢病院 外科外来

電話 076-252-2200 (代)